

(4) 主要な地点における流水の正常な機能を維持するため必要な流量に関する事項

関川の高田地点下流における既得水利は、工業用水 $1.621\text{m}^3/\text{s}$ 、雑用水 $1.500\text{m}^3/\text{s}$ があり、合計 $3.121\text{m}^3/\text{s}$ である。

これに対し、高田における過去30年間（昭和50年～平成16年）の平均低水流量は約 $23.4\text{m}^3/\text{s}$ 、平均渇水流量は約 $11.3\text{m}^3/\text{s}$ である。

高田地点における流水の正常な機能を維持するため必要な流量は、概ね $6\text{m}^3/\text{s}$ とする。

なお、流水の正常な機能を維持するため必要な流量には、水利流量が含まれているため、水利使用等の変更に伴い、当該流量は増減するものである。